

# 令和2年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

## I 本部拠点事業

### (1) 法人運営事業

富士宮市社協の適正運営に心がけ、組織管理や諸規程の見直しを随時行いました。

#### ●理事会・評議員会等の開催

##### 理事会

開催年月日	主な審議内容
令和2年5月20日 【書面決議】	○令和元年度事業報告の承認について ○令和元年度会計決算の承認について ○会長表彰について ○評議員会の招集について
令和2年9月29日 【書面決議】	○副会長の選任について ○評議員の推薦について ○令和2年度会計補正予算(第1号)の承認について ○経理規程の一部改正について ○評議員会の招集について
令和3年2月16日	○定款の一部改正について ○職員就業規則の一部改正について ○契約職員就業規則の一部改正について ○令和2年度会計補正予算(第2号)の承認について ○評議員会の招集について
令和3年3月16日	○定款の一部改正について ○令和2年度補正予算(第3号)の承認について ○令和3年度事業計画の同意について ○令和3年度会計予算(案)の同意について ○評議員会の招集について

##### 評議員会

開催年月日	主な審議内容
令和2年6月4日 【書面決議】	○令和元年度事業報告の承認について ○令和元年度会計決算の承認について
令和2年10月7日 【書面決議】	○理事の選任について ○令和2年度会計補正予算(第1号)の承認について
令和3年2月24日	○定款の一部改正について ○令和元年度補正予算(第2号)の承認について
令和3年3月24日	○定款の一部改正について ○令和2年度補正予算(第3号)の承認について ○令和3年度事業計画の承認について ○令和3年度会計予算(案)の承認について

##### 評議員選任・解任委員会

開催年月日	主な審議内容
令和2年10月15日	評議員の選任について

### ●監査

令和元年度の会計監査、業務監査を実施しました。(令和2年5月8日)

### ●定款規程等の改正及び変更

定款、経理規程、職員就業規則、契約職員就業規則の一部をそれぞれ改正しました。

### ●富士宮市社会福祉協議会会員加入促進

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「日赤・社協合同大会」をはじめとする、各地域での総会等が中止となる中、振込依頼票等での協力依頼を行いました。

### ●行政とのパートナーシップの構築

事業推進に必要な人材確保と事業費への公費補助金の理解を求め、社協施策の充実に取り組みました。

### ●その他

- ・事業毎に必要な知識の習得のため、各種外部研修に積極的に参加しました。
- ・内部研修の実施：職員に向けて、以下の研修を行いました。  
安全運転管理研修（参加者 42名）
- ・実習生の受入れ：これから社会福祉を担う学生に対し、専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行いました。

## (2) 企画広報事業

### ●広報紙発行、ホームページ活用事業

- ・富士宮市社協の活動や企業の社会貢献活動、地域活動の周知を目的に広報紙「明るいまち」を発行しました。(配布先：全戸配布 発行回数：年3回(4・10・1月)) ※7月号は発行中止
- ・ホームページにより、富士宮市社協の事業(活動)に関する周知と情報提供を行いました。

### ●日赤・社協合同大会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

### ●表彰状・感謝状の贈呈

表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行いました。

- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 45名
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 17名
- ・日本赤十字社業務功労 14名
- ・静岡県共同募金会感謝状 3名

### ●声の明るいまちの発行

視覚障がいのある方に、音声版「社協広報紙 明るいまち」を発行しました。

## (3) 地域福祉推進事業

### ①地域福祉推進事業

### ●地域福祉推進計画

新型コロナウイルス感染拡大を受け、策定期間が令和3年度へ延期されました。

- ・地域福祉計画 策定専門委員会・地域福祉活動計画策定・推進委員会合同会議

(1回目)

開催日：令和2年11月27日(会場：富士宮市役所)

参加者：委員11名、事務局 富士宮市福祉企画課、富士宮市社協職員3名

内容：地域福祉推進計画策定期間延期について

(2回目)

開催日：令和3年3月26日(会場：富士宮市役所)

参加者：委員9名、事務局 富士宮市福祉企画課、富士宮市社協職員2名

内容：地域福祉推進計画の実施状況等について、次期計画策定の概要について

- ・地域福祉推進計画 合同事務局会議 (会場：富士宮市役所、富士宮市総合福祉会館)

開催日：6/26、7/3、10/6、11/4、11/17、11/20、11/27、12/23

1/8、1/19、3/10、3/24

内 容：地域福祉推進計画の進捗確認、次期計画の策定に関する協議

## ②地域福祉教育事業

地域に生活するすべての人が、お互いに認め合い、支えあいながら「みんながしあわせ」と感じられる地域とするために、家庭、学校、地域で活動する人を育む教育を、地域や学校などにおいて推進しました。

### ●福祉教育推進連絡会 【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

各校に対し、福祉教育に関する資料配布や、学校訪問により福祉教育の取り組みについて説明を行いました。

### ●学校における福祉教育プログラムの支援

職員が学校に出向き、講話及び実践者と一緒に授業を行いました。また、地域福祉活動への参加調整を行いました。

実績：合計 22 件

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
件数	3件	3件	1件	4件	0件	6件	0件	3件	2件

実施校：小学校 6校、中学校 1校、高等学校 1校

内 容：障がいへの理解、地域福祉について、地域寄り合い処・子育てサロンについて、地区社協活動について、認知症サポーター養成講座(高校)、ポッチャ体験、インタビューへの対応

講 師：実践者 19名、行政 3名、地域包括支援センター 1名、

富士宮市社協 6名(累計)、点字情報富士宮、富士宮市ボランティア連絡会

協 力：北山・山宮地区社会福祉協議会、富士見会(シニアクラブ)

### ●他機関との連携

- ・学校における福祉教育の推進について、富士宮市教育委員会と情報共有(年2回)を行い、連携を図りました。
- ・地域包括支援センターと協働で、富岳館高等学校で、認知症サポーター養成講座を実施しました。

実施日：令和2年6月9日

## ③地区社協活動事業

### ●地区社協連絡会

(第1回) 令和2年10月24日

「地区社協について」及び「事前アンケートの結果について」の説明と、「コロナ禍における地域福祉の実践」について、3地区の事例から、今後の活動に向けての参考としました。

事例紹介(報告者) 富丘地区社協 高木陽子氏

芝川地区社協 後藤良行氏

大宮地区社協 渡邊 仁氏

参加者：地区社協会長・支部長 17名

(第2回) 令和2年12月4日

「地区社協活動の今後の取り組みについて」の説明と、「住民ニーズに基づいた地区社協活動の推進」と題しての講演と演習を行いました。

講 師：静岡福祉大学教授 渡邊英勝氏

参加者：地区社協(支部)の企画(推進)委員長 18名

### ●地区社協出前講座

- ・上井出地区社協連携会議 令和2年6月17日(芝山区民館)
- ・富丘地区社協役員会 令和2年6月18日(富士宮市総合福祉会館)
- ・大富士地区社協役員会 令和2年7月8日(万野4区区民館)
- ・大宮西地区社協企画委員会 令和2年10月15日(西公民館)
- ・大宮西地区社協企画委員会 令和2年11月18日(西公民館)

・大宮地区社協企画委員会 令和3年3月5日（富士宮市総合福祉会館）

### ●地区社協活動に関する情報発信

- ・社協広報紙「明るいまち」にて地区社協活動や地区社協広報紙について紹介しました。
- ・地域福祉活動を紹介する「ささえあい通信」を発行し、各地区社協への配布、ホームページや館内配架にて情報発信しました。

### ●地区社協への助成

地区社協活動が円滑に推進できるよう、市内14地区社協に対し、助成金を交付しました。8,191,900円

## ④地域寄り合い処事業

介護予防・健康維持・生きがいづくり・不安や悩みの解消、孤立・孤独の防止等に取り組み、住民同士が気軽に立ち寄れる居場所として、安定した運営と継続した取り組みとなるよう支援しました。

### ●寄り合い処運営支援（開所数：119か所）

#### ●スタッフ研修会の開催

地域寄り合い処への理解や活動内容の充実、スタッフの資質向上を目的に開催しました。

[第1回]（参加者93人）

#### ①大宮・大宮西・大宮東

令和2年9月30日（会場：駅前交流センター「きらら」）

#### ②大富士・富丘・富士根北・富士根南

令和2年10月2日（会場：富士宮市総合福祉会館）

#### ③猪之頭・上井出・白糸・上野・北山・山宮

令和2年10月7日（会場：上井出出張所）

#### ④芝川・柚野・稲子

令和2年10月9日（会場：芝川公民館くれいどる芝楽）

内容 講演「コロナ禍の中で寄り合い処を通じて見えてきたもの」

	黒田よりあいサロン代表	外岡 準司 氏
実践報告	①琴平寄り合い処	佐野 宏子 氏
	安居山2区寄り合い処西の里	芦原 はつみ 氏
	②万野四区ふみよ会寄り合い処	佐野 敏子 氏
	青木平寄り合い処	高木 陽子 氏
	大岩3区寄り合い処大きな和	五郎谷 和子 氏
	③朝日滝寄り合い処	佐野 千代子 氏
	山宮4区寄り合い処ひまわり	堀田 義美 氏
	④大久保寄り合い処	佐野 妙子 氏
	しもゆの寄り合い処	奈良部 加代子 氏
	えんがわ寄り合い処	佐野 八重美 氏

[第2回]（参加者：64名）

令和3年1月30日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内容 「新型コロナウイルス感染症の基本的な知識を学ぼう」

市健康増進課 保健師 池谷 朋江 氏

「新型コロナウイルス感染防止による休止期間中の寄り合い処スタッフと参加者の関わりに関する調査」結果について

地域ささえあい係

「寄り合い処を通じてのつながりづくり」

黒田よりあいサロン 代表 外岡 準司 氏

### ●開所支援

開設を希望する団体や個人に、情報提供や開設に向けた支援を行いました。（内房3区、咲花区）

### ●その他

社協広報紙「明るいまち」、社協ホームページ、岳南朝日新聞・富士山新報等を通じて寄り合い処の周知を

行いました。

## ⑤子育てサロン事業

### ●子育てサロンの推進（開所数：19か所）

自治会や民生委員児童委員協議会会合等で、子育てサロンについての理解と応援を求めました。

### ●子育て支援連絡会

子育てサロン代表者、子育てサロンアドバイザー、主任児童委員、市子ども未来課、市健康増進課、社会福祉協議会間で、情報交換・子育てに関する制度や動向に対する現状把握を行いました。

第1回：書面報告

第2回：令和2年11月25日（会場：富士宮市総合福祉会館）

第3回：令和3年2月26日（会場：富士宮市総合福祉会館）

### ●地域子育てサロンアドバイザー連絡会の開催

子育てサロンアドバイザー、社会福祉協議会間で、各サロンの運営状況、子育て支援連絡会の内容検討等を行いました。

第1回：令和2年4月24日（会場：富士宮市総合福祉会館）

第2回：令和2年11月6日（会場：富士宮市総合福祉会館）

第3回：令和3年1月22日（会場：富士宮市総合福祉会館）

### ●令和2年度 市立保育園と地域子育てサロンの情報交換会

市立保育園14か所担当者・地域子育てサロン代表者及びスタッフ・地域子育てサロンアドバイザー・市子ども未来課・市健康増進課間で、暮らしやすい・子育てしやすい地域になるよう、運営や現在の子育て事情について情報共有し、連携を深めました。

令和2年9月4日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内容：「富士宮市の子育て状況について」市健康増進課 保健師 山中 知恵 氏

参加者：37名

### ●キラキラサロン（4・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

開催日：6/10、7/8、8/5、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10

会場：富士宮市総合福祉会館

対象者：子育てに不安を抱える親子・他県からの転入などで知り合いがいない親等

内容：市健康増進課事業の乳幼児全戸訪問事業において、気がかりな親子に対し声掛けしていただき、気軽に参加してもらい、遊びや日常会話の中で、育児に対する不安の解消を図る。

### ●スタッフ研修会

核家族化や地域の繋がり希薄化等により子育ての孤立化が進み、子育てに不安を感じる親が増加する中、子ども達が心身ともに健やかに生まれ育つよう、子育て家庭の不安を取り除き、子育ての楽しさを感じられるにはどうしたらいいかを、子育てサロン代表者、子育てサロンアドバイザー、主任児童委員、市子ども未来課、市健康増進課間で、どのような支援、応援ができるかを研修しました。

令和2年11月25日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内容：講演「メディアと子ども」

講師：富士宮市立大宮保育園 園長 日原 元美 氏

富士宮市立明星保育園 園長 山城 友美 氏

参加者：24名

### ●孫・他孫育て講座

「孫のお世話を応援したいけれど近頃の子育ての仕方が分からない」「小さい子のお世話は久しぶりで不安がある…」等、子育てに関する不安を解消し、自分の地域に住んでいる他孫に対して、ゆるやかな応援をすることにより、地域全体で子育て支援の充実を図る事を目的に開催しました。

第1回 令和2年12月2日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内容：「学ぼう！今の子育て環境」～変わった事 変わらないもの～

市健康増進課 保健師 藤田 博美 氏

「孫の気持ちに寄り添うあそび」～玩具・絵本・わらべうたなど～

市子ども未来課子育て世代包括支援センターコンシェルジュ 宮澤 多恵子 氏

第2回 令和2年12月8日(会場:上野つすくサロン(上野会館))

令和2年12月11日(会場:芝川つすくクラブ(芝川会館 内房分館))

令和2年12月15日(会場:子育てサロンかみいで(上井出区民館))

内容 子育てサロンの見学・体験 ※いずれか1か所

参加者:13名

### ●孫・他孫育てフォローアップ講座

令和元年度孫・他孫(たまご)育て講座受講した方を対象に、核家族が多い現代、地域全体で子育て応援をすることで子育て家庭にとってどんなパワーをもたらすことができるのか再確認していただくとともに、受講した方々のスキルと時間を積極的に活かし、地域と子育て家庭のつながりを持つきっかけにさせていただく事を目的に開催しました。

令和3年1月29日(会場:富士宮市総合福祉会館)

内容:講演「地域に寄り添う子育て応援」講演:社協職員

実践報告:芦澤 義子 氏

参加者:13名

## ⑥第1層生活支援コーディネーター事業

市域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネーター業務に努めました。

### ●第1層協議体(富士宮市地域支えあいプロジェクト)

#### (1)第1層協議体

7月29日(会場:富士宮市駅前交流センター)

内容:委員長・副委員長の選出、令和2年度富士宮市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体の活動について、第2層協議体などの進捗報告

11月4日(会場:富士宮市駅前交流センター)

内容:第2層協議体の活動について、移動に関する高齢者等のニーズについて、富士宮市の公共交通の現状について

2月8日(会場:富士宮市役所)

内容:第1層協議体の役割について、公共交通の活用について、第2層協議体の活動報告について

#### (2)生活支援コーディネーター、事務局との打ち合わせ

### ●生活支援ニーズの把握

- ・地域寄り合い処で高齢者の生活課題を把握

### ●情報整理

- ・説明資料・会議資料・提出資料等の作成と業務実績のまとめ

### ●第2層協議体設置への支援

- ・区長・地区社協役員、ボランティア団体、郵便局、農協等へ事業説明及び協力依頼
- ・第2層生活支援コーディネーターの支援

### ●富士宮市生活支援体制整備事業担い手養成講座の開催

今日、高齢による意欲低下、筋力低下などにより、今まではできていた掃除、ゴミ出しなどが出来なくなってきた状況が見受けられる。このような生活支援を必要とする高齢者と生活支援の担い手とマッチングできる仕組みづくりを目的に本講座を開催しました。

3月26日(会場:浄土宗来迎寺)

内容:実習『ボランティアにできる植木の剪定方法について』

講師:株式会社佐野緑化 代表取締役 佐野貴彦氏

講話『富士宮市シルバー人材センターについて』

講師:公益社団法人富士宮市シルバー人材センター 杉永三千子 氏

参加者:9名

## ⑦第2層協議体推進業務

関係団体と情報共有を行い、連携・協働による支え合いの地域づくりを行う組織の設立と、推進を支援しました。

### ●第2層協議体推進業務

自治会支部圏域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

### ●第2層協議体の設立に向けた説明会の開催

コロナ禍の状況にあり大規模な説明会は取りやめ、各種団体代表者及び定例会等へ訪問し、生活支援体制整備事業に関する説明を行いました。

- ・上野地区・北山地区・・・延べ14団体へ事業説明
- ・白糸地区・上井出地区・・・延べ14団体へ事業説明

### ●第2層協議体の設立

- ・上野地区・北山地区協議体

10月30日（会場：上野会館）

参加者：12名（委員13名中）

内 容：委員長、副委員長の選出、活動計画案の検討

- ・白糸地区・上井出地区協議体

11月6日（会場：上井出出張所）

参加者：12名（委員13名中）

内 容：委員長、副委員長の選出、活動計画案の検討

### ●第2層協議体の運営

- ・大宮西地区・芝川地区協議体

① 8月28日（会場：芝川公民館）

② 10月16日（会場：芝川公民館）

③ 1月14日（会場：芝川公民館）

④ 2月26日（会場：芝川公民館）

内 容：①新委員委嘱状交付、協議体事業計画、調査（聞き取り、地域資源）の実施について、各部会からの報告

②各部会からの報告、調査の実施状況報告、委員からの情報提供

③各部会からの報告、調査結果を受けての協議、協議体の運営について

④「協議体」と「生活支援コーディネーター」の役割と方向性について、通いの場の方向性について、協議体の運営について

調査部会

① 7月15日（会場：芝川公民館）

② 9月30日（会場：芝川公民館）

③ 11月27日（会場：芝川公民館）

生活支援部会

① 7月15日（会場：芝川公民館）

② 9月30日（会場：芝川公民館）

③ 11月25日（会場：芝川公民館）

居場所部会

① 7月17日（会場：芝川公民館）

② 9月25日（会場：芝川公民館）

③ 11月27日（会場：芝川公民館）

- ・富士根南地区・富士根北地区協議体

① 8月26日（会場：富士根南公民館）

② 10月28日（会場：富士根南公民館）

③ 1月15日（会場：富士根南公民館）

④ 2月24日（会場：富士根南公民館）

内 容：①新委員への委嘱状交付、協議体事業計画、調査（聞き取り、地域資源）の実施について、各  
部会からの報告

②各部会からの報告、調査の実施状況報告、委員からの情報提供

③各部会からの報告、地域資源マップについて

④「協議体」と「生活支援コーディネーター」の役割と方向性について、通いの場の動向と生  
活支援の課題について、今年度の振り返りと来年度に向けての課題について

#### 調査部会

① 7月8日（会場：富士根南公民館）

② 9月16日（会場：富士根南公民館）

③11月18日（会場：富士根南公民館）

#### 生活支援部会

① 7月8日（会場：富士根南公民館）

② 9月16日（会場：富士根南公民館）

③11月18日（会場：富士根南公民館）

#### 居場所部会

① 7月10日（会場：富士根北公民館）

② 9月18日（会場：富士根北公民館）

③11月20日（会場：富士根北公民館）

④ 1月13日（会場：富士宮市総合福祉会館）

#### ・大宮中地区・大宮東地区協議体

① 8月27日（会場：駅前交流センターきらら）

② 9月24日（会場：富士宮市総合福祉会館）

③ 1月26日（会場：富士宮市総合福祉会館）

④ 2月25日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内 容：①新年度体制委員紹介、委嘱状交付、協議体事業計画、ニーズ・資源調査

②協議体の目的についての確認、前回から動きのあった内容報告と協議及び情報提供

③これからの「通いの場」について方向性の確認、生活支援の仕組みづくり

④令和3年度大宮中地区・大宮東地区協議体活動での考え方、GOTO商店街について、山本  
区での取り組みについて

#### ・富丘地区・大富士地区協議体

① 8月25日（会場：富士宮市総合福祉会館）

②10月27日（会場：富士宮市総合福祉会館）

③ 2月16日（会場：富士宮市総合福祉会館）

内 容：①新年度体制委員の紹介、委嘱状交付、協議体事業計画、ニーズ・資源調査

②第1層協議体現状の活動報告、通いの場について

③第1層協議体の新構想について、生活支援のしくみづくり（買い物支援）について

#### ●富士宮市生活支援体制整備事業セミナー

社会資源の1つである寺院を通じた地域共生社会の実現に向けた取り組みをテーマに、従来の地域福祉ネ  
ットワークから広域的な多分野による地域福祉ネットワークへの展開を考える機会とするために開催

3月21日（会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール）

対 象：市内第2層協議体委員、第1層協議体委員、生活支援体制整備事業アドバイザー

参加者：42名

内 容：講演『寺院からはじまる共生（共に生きる）の地域づくり～宗派、檀家の垣根を超えたつな  
がりを求めて～』

講師：高瀬顕功氏（大正大学社会共生学部公共政策学科専任講師、浄土宗法源寺副住職）



#### (4) ボランティア活動事業

ボランティア活動に関する相談やコーディネートの実施を図りました。

##### ●ボランティア相談・コーディネート

内訳		件数 ※ ( ) 内は活動につながった人数	
		令和2年度	令和元年度
コーディネート	活動希望者	13 (4) 件	17 (10) 件
	募集依頼	62 件	118 件
登録	団体	55 団体	68 団体
	個人	15 名	45 名
その他	活動全般に関わる相談	2 件	3 件
	職員による活動先の訪問	1 件	5 件

##### ●ボランティア活動の支援

ボランティア団体に対し、助成金情報を提供し、提案と申請書類作成支援を行いました。

##### ●ボランティア活動保険の加入促進 ※ ( ) 内は前年度

	総数	内訳	
令和2年度	1,576 (2,181) 名	52 (68) 団体	個人 1,558 (2,140) 名

##### ●災害ボランティア本部運営

・災害ボランティア活動に関する必要備品数の確認を行いました。

一輪車	10 台	軍手	196 組
ブルーシート	10 枚	スコップ (剣)	15 本
バール	5 本	スコップ (角)	16 本
災害時用睡眠 3点セット	4 セット	長靴	20 足
簡易トイレセット	3 セット	土嚢袋 (100 枚入り)	2 枚
携帯用簡易トイレ	4 セット	椀 (210 入り)	9 セット
バケツ	15 個	皿 (70 入り)	11 セット
のこぎり	10 本	シンバル	1 台

・行政担当者 (災害ボランティア本部ボランティア班) との情報共有を5月、8月、11月に実施しました。

##### ●災害ボランティア講座の開催

令和2年12月11日

内 容 : 講演『みんなで支え合う、災害多発時代の地域づくり』  
ローカリズム・ラボ代表 井岡 仁志 氏

参加者 : 17 名

##### ●家具固定事業の実施 【※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

##### ●ボランティア入門カフェ (交流会) の開催

令和3年3月26日

内 容 : 「ボランティア活動について」の説明

活動紹介 ボランティア活動及び感染症に配慮した活動について映像や写真を使って紹介

参加者 : 10 名

#### (5) 子育て支援センター事業

3歳までの未就園児と子育て中の親、祖父母に対し、専門スタッフによる相談・助言と、産後の母親支援や、パパの子育て支援の充実を図り、親子に寄り添う支援プログラムの提供や利用者同士のふれあい、情報共有できる場の提供、地域との交流などを行いました。その他、玩具や絵本の入れ替えを実施するなど、遊び環境の整備の充実を図りました。

##### ●子育て支援センターたち運営 (開所日 : 火~土 (9:00~10:15、10:30~11:45、13:00~15:00))

(事業内容) ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

- ・子育て等に関する相談、援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
- ・高齢者等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組(地域支援)

(実施状況) 開所日数 : 242 日 延利用者数 : 6,469 名 (1 日平均 26.7 名)  
 電話相談 : 141 件 面接相談 : 1,049 件  
 講座実施回数 : 17 回 延利用者数 : 384 名

### ●講座の開催

4 月	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止	10 月	栄養相談・健康相談
5 月		11 月	歯科相談・健康相談・パパの子育て講座
6 月		12 月	健康相談・親子体操(対象:歩行ができる子)
7 月		1 月	健康相談・親子リトミック講座
8 月	子育て講座	2 月	健康相談・救急講座
9 月	子育て講座	3 月	健康相談

### ●文化伝承事業(協力:ふじさんシニアクラブ富士宮)

FSC 富士宮会員と利用者親子がクリスマス飾りの作成、紙芝居・体操・正月遊びなどを通して交流を図りました。

11/5 (参加者 19 名)、3/16 (参加者 48 名)

### ●多世代交流(地域活動支援センターふらっと)

地域活動支援センターふらっと利用者が作成した折り紙をプレゼントされるなど、折り紙で遊びながら交流を図りました。

12/3・12/4・12/5・12/22 (参加者 106 名)

### ●その他

- ・0Bママの子育て応援

センターを利用していた先輩お母さん達が、現在利用している保護者からの相談に対応しました。

## (6) しあわせ支援事業

### ①応急小口資金貸付事業

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要とする生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

貸付件数 : 6 件 (240,000 円) 償還率 : 20.8%

### ②高額療養費貸付事業

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付を受けられない方を対象に、一時的に支払うべき医療費の負担の軽減を図りました。

貸付件数 : 78 件  
 貸付金額 : 13,798,548 円  
 医療機関振込 : 13,613,328 円  
 本人返還金 : 185,220 円

### ③生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした、静岡県社協が実施する貸付制度について、富士宮市社協が窓口となり貸付を行いました。

貸付件数 : 27 件 貸付総額 : 4,366,000 円

内 訳 : 緊急小口資金 21 件 : 2,015,000 円  
 総合支援資金(生活支援費) 5 件 : 1,851,000 円  
 福祉資金(葬祭費) 1 件 : 500,000 円

#### 【新型コロナウイルス特例貸付】

緊急小口資金特例貸付 申請件数 411 件

総合支援資金特例貸付 申請件数 215 件（延長 47 件、再貸付 18 件を含む）

相談者が急激に増加したため、職員を増員し、迅速な貸付け相談、事務手続きに努めました。

#### ④権利擁護事業

##### ●日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、契約に基づいた支援を行いました。また、利用者の状況を確認し、必要に応じて成年後見制度への移行のための調整を行いました。

- ・契約件数： 91件（令和2年度契約件数7件）
- ・解約件数： 8件（死亡1件・後見人へ移行3件・施設入所2件、親族へ移行1件、その他本人申出1件）
- ・実働件数：1,801件（認知症194件、知的障がい者627件、精神障がい者416件、その他564件）
- ・相談件数：2,206件（認知症272件、知的障がい者751件、精神障がい者475件、その他708件）

##### ●法人後見事業

家庭裁判所より受任依頼のあった事案について法人受任の検討や、事業の適正性を確保するために、運営委員会を適宜開催し事業の推進に努めました。また、安定している事案を市民後見人へ移行すると同時に後見等監督人を受任しました。

運営委員会年4回開催 11件の審査を行い受任の答申を行いました。  
(類型：後見9名・保佐1名・補助1名)

これまでの受任件数 30件（1名死亡により終了）

市民後見人移行件数 4件

後見等監督人受任件数 4件

#### ⑤結婚相談事業

結婚相談を月5回開設し、民生委員児童委員協議会、更生保護女性会より選出された相談員10名が、相談受付から、見合い、成立までをサポートしました。

結婚成立件数： 2件

見合い実施件数： 47件

新規登録者数： 34名

相談件数： 785件（男性432件・女性353件）

4月～5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

相談場所をこれまでの相談室から換気の良いミーティングルームに移すなど環境を整えました。

#### ⑥遺児・交通遺児援護事業

交通事故で親を亡くした児童、何らかの理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当及び入学支度金を支給することで児童の健全育成を図りました。

遺児：18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童に学資手当を支給しました。  
(学資手当対象者：高校生3名)

交通遺児：18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に対し、入学支度金を支給しました。  
(入学支度金対象者：高校入学1名)

#### ⑦生活困窮者自立支援事業

生活に困窮された方々（様々な事情により経済的にお困りの方）の相談を受け、就労支援、住居の安定、家計管理、子どもの学習など1人ひとりの状況に合った支援プランを作成し、自立までを包括的・継続的にサポートしました。

(主任相談支援員・相談支援員(専任各1名)、家計相談支援員(専任・兼任各1名)、就労支援員(兼任1名))

### ●自立相談支援事業

相談者の課題把握、支援計画作成と包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による、離職者、減収者の相談が増え、貸付けの情報を始め、有益な情報提供に努めました。また、就労支援員による就労活動のサポート等早期生活再建に向けた支援を行いました。

新規相談件数：270件

支援プラン決定件数：66件

支援プラン終結件数：17件

自立相談支援事業支援延べ件数：2,017件（昨年比約1.5倍）

#### ・ふじのみやフードサポート事業

地域住民や企業へ事業理解を深めるとともに地域力を活かした食料支援、食事提供を実施しました。

食料支援延件数：177件（420名分、幼児58名、高齢者16名含む）

#### ・ひとり親世帯への食糧支援

児童扶養手当全額支給世帯のうち申込みをされた27世帯へご寄付いただいた食糧をお渡ししました。

#### ・制度理解を深めるための講演会

令和2年9月5日（富士宮市総合福祉会館）

内 容：講演 ひきこもり・8050問題を考える ～誰にでも居場所がある社会を目指して～

講師 愛知教育大学大学院准教授 川北稔 氏

参加者：42名

### ●家計改善支援事業

家計に課題のある方に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組めるよう支援しました。

家計改善支援事業支援延べ件数：272件

### ●両事業共通

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、相談室にアクリル板、低濃度オゾン発生装置を設置し、安全に安心して相談できる環境作りに努めました。

## （7）共同募金配分金事業

共同募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）の趣旨や用途について市民の理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、配分金を地域福祉の推進に有効に活用できるよう、助成事業を一般公募し、配分委員会において適正な審査を行ったうえで、市内の生活課題・福祉課題の解決に取り組む福祉団体・ボランティア団体に対し、財政面から支援を行いました。

### ●赤い羽根共同募金助成事業公募

地元新聞社や富士宮市社協ホームページ等を通じて広く公募しました。

受付期間：4/9～5/14

### ●配分委員会の開催

募金協力者の意見が反映されるよう、多様な方に委員を依頼し、申請団体の助成内容を審議しました。

第1回目 令和2年 6月 5日 （書面決議）

第2回目 令和2年 11月 17日 （会場：富士宮市総合福祉会館）

第3回目 令和3年 1月 29日 （書面決議）

### ●助成結果

静岡県共同募金会からの配分金

令和元年度共同募金・歳末助け合い募金剰余金からの収入	10,567,799円
収入合計	10,567,799円

助成金の使途

富士宮市社協事業（結婚相談、移動支援事業、修学旅行費助成事業）他3事業	7,277,755円
ふじさんシニアクラブ富士宮、民生委員児童委員協議会、富士宮市ボランテ	993,677円

イア連絡会、災害見舞金			
高齢者福祉事業	2団体	2事業	130,000円
障害福祉活動事業	6団体	10事業	523,506円
住民全般事業	1団体	1事業	60,000円
更生保護事業	2団体	2事業	230,000円
支出合計			9,214,938円
※収入合計 10,567,799円－支出合計 9,214,938円＝1,352,861円については、静岡県共同募金会へ返還。うち 625,899円に関しては既に返還済みであり、令和3年度に再助成されます。			
静岡県共同募金会からの助成金（歳末たすけあい）			
令和2年度歳末たすけあい募金からの収入			4,052,771円
収入合計			4,052,771円
助成金の使途			
援護活動事業	186世帯	449名	1,905,000円
施設入所児童援護活動事業	7施設	28名	168,000円
支出合計			2,073,000円
※収入合計4,052,771円－支出合計2,073,000円＝1,979,771円については、静岡県共同募金会に返還し、令和3年度に再度配分されます。			

## II 介護保険事業

### (8) 居宅介護事業

介護保険利用者の生活課題を整理し自立した生活が送れるよう、多職種連携による支援を行いました。

- ・地域包括支援センターと連携し成年後見人申し立て支援を行いました。
- ・障害相談員との情報共有、連携を図り自立支援に向けたプラン作成に努めました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた業務の取り組み、職場内感染予防対策の徹底、利用者、家族の健康管理に努めました。
- ・地域ケア会議の参加、介護支援専門員部会ZOOM研修に参加しスキルアップに努めました。

令和2年度延べ利用者数 ※（ ）は前年度

要支援1・2：51件（74件）要介護1・2：265件（259件）要介護3・4・5：98件（112件）

### (9) 訪問介護事業

介護保険利用者の情報の共有や日々の支援の状況を、訪問介護員からサービス提供責任者が随時報告を受け、迅速に対応出来ました。また、他事業所にも必要な情報を提供し、連携を図りました。

業務では、感染症対策を講じて支援に取り組みました。

令和2年度利用者数 ※（ ）は前年度

要支援1：4名（4名） 要支援2：10名（9名）

要介護1：12名（13名） 要介護2：5名（6名） 要介護3：2名（5名）

要介護4：1名（0名） 要介護5：0名（2名）

延べ利用数 3,115件（3,541件）

## III 障害福祉事業

### (10) 地域活動支援センターバンブー

#### ●社会との交流の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの受け入れが出来ないことや、毎年交流していただいている地域寄り合い処への参加ができませんでした。このため、利用者と地域とを繋げていくよう干支のお飾りを利用者が製作し、毎年交流していただいている地域寄り合い処の皆様へお渡しをしました。

また、芝川会館のガラス壁面の装飾をとおして、来館者の皆さんとの間接的な交流および、バンブーの周知に繋がりました。

#### ●生産活動の推進

新型コロナウイルスの拡大により下請け作業が減少したため、利用者様の作業の確保のため新たに布マスクやマスクケースの製作・販売を開始し、作業収入として550,311円を得ました。

#### ●社会適応の推進

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みながら少人数のグループに分かれて地域を散策しました。

### (11) 地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすとともに、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

事業実施日数： 242日

延べ利用人数： 4,533名（うち富士市在住者：145名）

1日平均利用数：18.7名

#### ●フリースペース機能の充実

新型コロナウイルス感染拡大で当初予定していた企画が中止となる中で、利用者からの意見、提案を受け、実施可能な範囲で企画を検討、実施しました。

##### ・富士山まちづくり出前講座の開催

第1回 「知っているようで知らない富士宮の世界遺産」 講師：市富士山世界遺産課職員  
令和2年9月4日（参加：10名）

第2回 「心の健康について」 講師：市健康増進課職員  
令和2年11月11日（参加：7名）

##### ・「お茶会」の開催

3密を避け、普段会話する機会の少ない利用者同士がコミュニケーションを取る機会となりました。

第1回 令和2年6月20日（参加：13名）

第2回 令和2年9月9日（参加：8名）

第3回 令和2年9月19日（参加：10名）

第4回 令和2年12月19日（参加：24名）

第5回 令和3年3月13日（参加：13名）

##### ・利用者サークルの発足（名称「ふらおり部」メンバー：5名）

折り紙を共通の趣味とする利用者同士でサークルを結成。※作品を地域住民にプレゼントしました。

##### ・ミニ教室の開催

利用者自身が講師となり、同じふらっと利用者に教える機会を作りました。それぞれの特技を活かした教室となりました。

「似顔絵講座」 令和2年7月10日（参加：4名）

「消しゴムハンコ講座」 令和3年3月5日（参加：5名）

「習字講座」 令和3年3月25日（毎週1回開催）

#### ●保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携

・広報誌の紙面内容を改良した上で、市内外各医療機関に配布しました。

・富士宮市役所障がい療育支援課には、ふらっと利用者が製作した折り紙とともに広報誌を置いていただくことになりました。

・ケア会議に参加し、各医療機関相談員や精神保健福祉士と連携を取るようになりました。

#### ●普及啓発活動の充実

・新型コロナウイルス感染拡大防止により、公開講座等は実施できませんでした。

・地域活動支援センター作品展の開催

開催日：8/1～8/22（会場：総合福祉会館）

・富士宮市主催福祉作品展への出展

開催日：1/15～1/22（会場：富士宮市役所）

## ●ピア活動の推進

- ・ピアカウンセリング体験の実施

第1回 「薬と睡眠と健康」

令和2年6月24日（会場：総合福祉会館） 参加数 5名

第2回 「私の健康法」

令和2年8月27日（会場：総合福祉会館） 参加数 6名

第3回 「これからの体調管理の仕方（落ち込んだ時の対処方法）」

令和元年11月25日（会場：総合福祉会館） 参加数 4名

第4回 「体調が悪かった時の対処法」

令和2年2月27日（会場：総合福祉会館） 参加数 6名

- ・コロナ禍における利用方法を検討、また利用環境を向上するため、隔月で利用者ミーティングを開催しました。（4/11、5/9、7/4、9/5、11/7、1/9、3/6）

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を検討するため、臨時で4月に開催しました。

## （12）指定相談事業

障がい者（児）からの相談を受けて、福祉サービスの案内や調整、児童に対しては、学校関係者との連携を図りました。また、サービス等利用計画の作成・マネジメントを行い、関係機関と連携して支援することに重点的に取り組みました。

年間実利用人数 ※（ ）は前年度 796名 （763名）

内 大人 414名 （421名）

子ども 382名 （342名）

延べ相談件数 15,917件 （16,415件）

プラン作成 1,246件 （1,199件）

個別ケア会議開催件数 217件 （287件）

職員は、相談支援専門員6名を配置し、強度行動障害支援者養成研修、医療ケア児等コーディネーター養成研修、精神障害者の地域移行に関する研修を修了した職員を配置しました。また、毎月の事例検討研修のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、年2回の外部講師招聘による研修、WEB研修参加もを行い、職員の相談援助技術の向上に努めました。

## （13）基幹相談支援センター

地域の障がい相談支援の拠点として、4つの柱の業務に取り組みました。

①総合的な相談業務として、相談支援事業所と連携しながら43名の方の支援に取り組みました。

②地域の相談支援体制の充実・強化の取り組みとして、委託相談支援事業所の連絡会を立ち上げ9回開催、事例検討会での支援、相談支援体制の検討などを、関係機関と連携しました。

③地域移行・定着の取り組みとしては、富士圏域での取り組みに参加しました。

④権利擁護・虐待防止への取り組みとして、研修開催支援、関係機関との連携、相談対応を実施しました。

## （14）障害者居宅介護事業

家事支援（買い物・調理・掃除・洗濯）の依頼が多く、利用者の意向に沿いながら支援を行いました。ご本人のペースに合わせヘルパーと一緒に出来るように、環境作りを心がけました。

移動支援の定期利用者が増加しました。ヘルパーと一緒に安心・安全に外出し、買い物を楽しみました。

ヘルパー支援においては、感染症対策を講じて支援に取り組みました。

令和2年度延べ利用者数※（ ）は前年度

居宅介護事業：18名（21名） 延べ利用数 1,532件（1,551件）

移動支援事業：7名（3名） 延べ利用数 122件（34件）

## （15）障害者同行援護事業

視覚障がい者の受診・買い物に安心してできるように外出支援を行いました。コロナ禍で余暇活動の機会が減少しましたが、買い物・受診同行が増加しました。

ヘルパー支援においては、感染症対策を講じて支援に取り組みました。

令和2年度延べ利用者数 ※（ ）は前年度

利用者数名 17名（14名） 延べ利用数件 1,115件（973件）

## IV 総合福祉会館事業

### （16）総合福祉会館

利用される方々が安全で安心して利用できるよう、管理に心がけました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため必要な備品の整備、体制づくりに努めました。

延べ利用者数：40,775名 1日あたり：140名（前年比：44%） 開館日数：292日

#### ●自主事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止施策により、実施を見送りました。

#### ●機器の老朽化に対する対応

不具合の生じた機器については随時修繕を行いました。

備品の入れ替えや今後必要となる大規模修繕、設備の改善の内容について、市所管課へ事務報告書等を出しました。

#### ●経費削減

見積合わせ、電力ピークカット契約の継続による経費削減や、蛍光灯のLED化を進めました。

#### ●消防訓練の実施

万一の地震や火災を想定し、職員が迅速な対応ができるよう訓練を行い、防災組織運営の意識向上を図りました。

・今回は3密回避のため、小グループごとの訓練や映像資料を用いた訓練を実施しました。

（令和2年9月10日、令和2年12月3日実施）

#### ●会館利用促進

社協広報紙に福祉会館の記事を掲載、宮バスの時刻表に広告を掲載しました。

コロナ禍でも安心して利用ができるよう、ルール作成と、消毒機器の配備を行いました。

## V その他事業

### ●車いす貸し出し事業

介護保険の認定申請中の方、急な外出や怪我により一時的に必要な方等に対し、短期間の貸し出しを行いました。（令和2年度貸出数：77台（令和元年度：167台））

## VI 他団体事務等

### ①富士宮市民生委員児童委員協議会

#### ●民生委員児童委員間の情報共有

・毎月第4木曜日に役員会を開催し、地域での課題等、情報共有を図りました。

・地区定例会へ、各係より担当が出席し、民児協と社協との連携強化に努めました。

※コロナ禍での定例会開催に工夫を凝らし、時短開催、体温計・手指消毒液配布等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しました。

#### ●活動

・緊急事態宣言時には民児協全体で手作りマスクを作製し、子育て団体等へ寄付を行うなど、委員全体で、新型コロナウイルスに負けないよう、意識を高めました。

・例年開催していた、区長会・ケアマネとの意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止から、中止となりました。



## ②日本赤十字社富士宮市地区

日本赤十字社のスローガンである「人間を救うのは人間だ」を念頭に、以下の事業を推進しました。

- ・市民の防災意識の向上を図る
- ・静岡県支部で実施する講座の周知
- ・災害発生時の義援金募集
- ・献血事業への支援
- ・有功会支援
- ・奉仕団支援

## ③ふじさんシニアクラブ富士宮

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で、健康づくりや生きがいづくり等の活動を実施しました。また地域での友愛活動・見守り活動を行ってきました。

## ④富士宮市ボランティア連絡会

- ・東部ボランティア交流会への出席、富士市ボランティア連絡会や富岳館高校との交流を通して、お互いの活動に対する理解を深めました。
- ・ボランティアまつりふれあいトークでの活動紹介や、元気を届けるメッセージボードの制作、掲示を通して、ボランティア連絡会の周知や、ボランティア活動の啓発、活動への参加を促しました。
- ・各事業を通して、会員間の連携を図りました。

# 令和2年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告書

## 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書への記載はありません。